

Curves®

The power to amaze yourself.®

——— 明日の自分にきっと驚く

2023年8月期第1四半期 決算補足説明資料

2023年1月11日

東証プライム市場：7085

株式会社カーブスホールディングス

目次

1. 2023年8月期1Q実績	3
2. 1Qの事業状況と取り組み	14
3. 2Q以降の見通しと戦略	23
Appendix	26



2023年8月期1Q実績

連結損益計算書

(単位：百万円)	2023年8月期（当期）	2022年8月期（前期）	前同比
	1Q（9-11月）実績	1Q（9-11月）実績	
売上高	6,935	6,460	107.3%
売上原価	3,895	3,631	107.3%
（売上原価率）	56.2%	56.2%	
売上総利益	3,039	2,829	107.4%
（売上総利益率）	43.8%	43.8%	
販管費	2,406	2,336	103.0%
のれん・商標権・無形固定資産 償却費*	428	341	125.5%
営業利益	632	493	128.2%
（営業利益率）	9.1%	7.6%	
経常利益	720	536	134.4%
（経常利益率）	10.4%	8.3%	
当期純利益	466	315	147.7%
（当期純利益率）	6.7%	4.9%	

連結損益計算書（地域別）

(単位：百万円)	2023年8月期（当期）		2022年8月期（前期）		前同比
	1Q（9-11月）実績	構成比	1Q（9-11月）実績	構成比	
売上高	6,935	100.0%	6,460	100.0%	107.3%
国内	6,833	98.5%	6,388	98.9%	107.0%
海外	101	1.5%	71	1.1%	141.7%
営業利益	632	9.1%	493	7.6%	128.2%
国内	1,185		946		125.3%
海外	△153		△125		-
調整額	△399		△327		-
（アベレージレート）	138.68円		110.47円		-

* 海外事業の売上・営業利益について

海外事業は、海外法人2社（Curves International, Inc. , Curves Europe B.V.）によるグローバルフランチャイズ事業、欧州FC本部事業で構成されています。

海外事業売上、営業利益には、日本国内事業からのCurves International, Inc.へのロイヤルティ支払い、フィットネス機器購入などの売上、海外子会社2社からの日本法人への指導料などのコストは含まれておりません。

* 営業利益の調整額項目について

特定の地域に帰属しない費用項目で、のれん・商標権償却費などです。

スポット：FC新規出店や契約更新などによって得られる一時的な収入

- ・FC新規出店に伴う加盟金やフィットネス機器販売などの収入
- ・契約更新に伴うフィットネス機器販売などの収入

ベース：店舗数、会員数などに連動して得られる継続的な収入

国内

ロイヤルティ等

FC店舗会費売上などに対するロイヤルティや
会員管理事務手数料などの収入

フランチャイズ関連

その他FC店舗から得られる収入

会員向け物販

会員向けの商品販売による収入、当社グループが会員へ
直販し販売手数料をFC店に支払

直営事業

直営店経営による収入

その他

その他

海外

売上高内訳

(単位：百万円)	2023年8月期（当期）		2022年8月期（前期）		前同比
	1Q（9-11月）実績	構成比	1Q（9-11月）実績	構成比	
売上高	6,935	100.0%	6,460	100.0%	107.3%
国内	6,833	98.5%	6,388	98.9%	107.0%
スポット	156	2.3%	132	2.1%	117.8%
ベース	6,676	96.3%	6,256	96.8%	106.7%
ロイヤルティ等	1,604	23.1%	1,524	23.6%	105.3%
FC関連	485	7.0%	444	6.9%	109.2%
会員向け物販*	3,902	56.3%	3,683	57.0%	105.9%
直営事業	656	9.5%	580	9.0%	113.1%
その他	27	0.4%	23	0.4%	118.7%
海外	101	1.5%	71	1.1%	141.7%

* 会員向け物販売上には、FC加盟企業に販売した商品の売上高が含まれております。

連結損益計算書トピック（前年同期比）⁸

前期1Q比較

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期1Q (22年9-11月)	69.3億円 (前期1Q比+4.7億円)	6.3億円 (前期1Q比+1.3億円)	7.2億円 (前期1Q比+1.8億円)	4.6億円 (前期1Q比+1.5億円)
前期1Q (21年9-11月)	64.6億円	4.9億円	5.3億円	3.1億円

売上高 69.3億円 前年同期比+4.7億円(107.3%)

①ロイヤルティなど収入増

- ・ 会員数 **74.8万会員** → **78.7万会員**へ

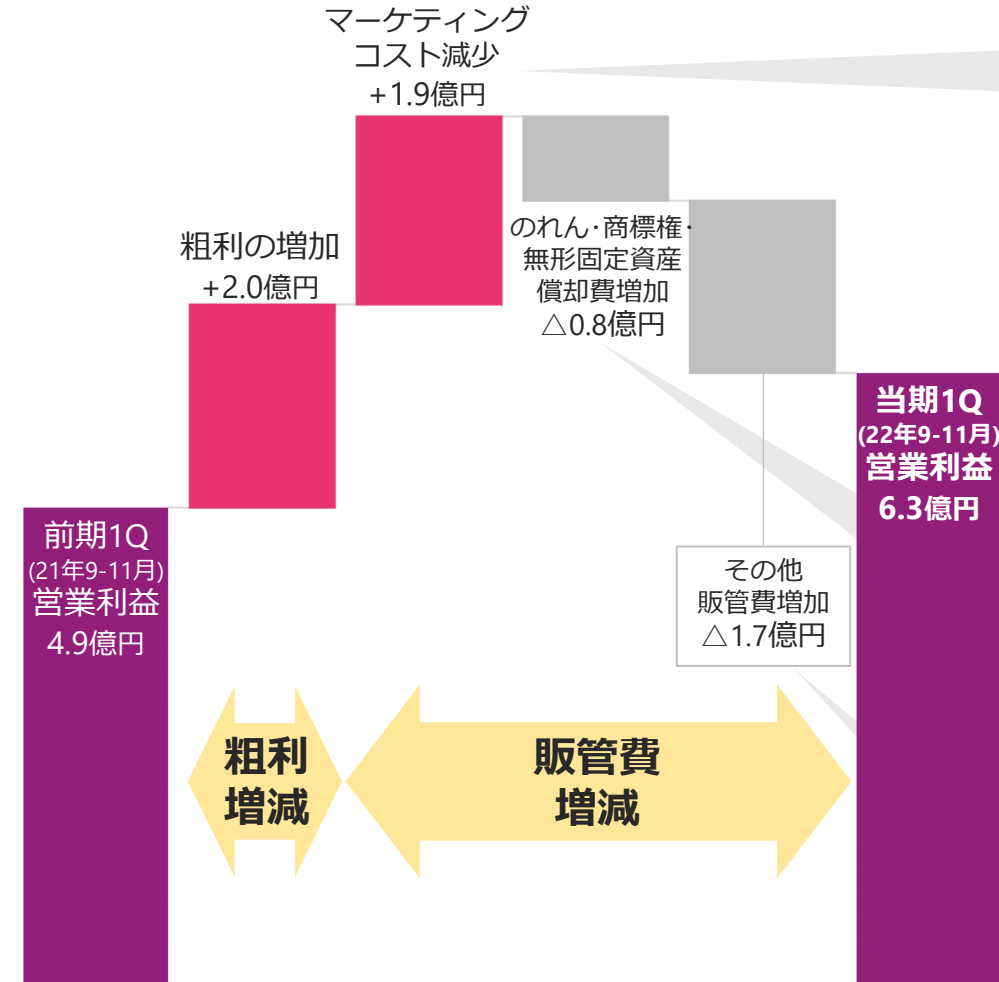
②物販売上増

- ・ 物販売上高 **36.8億円** → **39.0億円**へ
- ・ プロテイン定期契約者数増、高機能新商品による客単価増

連結損益計算書トピック（前年同期比）⁹

営業利益 6.3億円 前年同期比+1.3億円(128.2%)

当期1Q(22年9-11月)の前期1Q(21年9-11月)からの増減



計画通りTVCM含めた積極的なマーケティングを展開

フランチャイズ加盟店からの広告分担金供出額増加
および
マーケティング効率改善等により
マーケティングコスト減少

円安進行に伴う円換算償却費の増加

当期1Qアベレージレート 1ドル 138.68円

営業活動正常化、人件費増など

連結損益計算書トピック（前期4Q比）

10

前期4Q比較

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期1Q (9-11月)	69.3億円 (前期4Q比△1.2億円)	6.3億円 (前期4Q比+3.2億円)	7.2億円 (前期4Q比+1.1億円)	4.6億円 (前期4Q比+0.1億円)
前期4Q (6-8月)	70.5億円	3.1億円	6.0億円	4.4億円

売上高 前期4Q比△1.2億円(98.2%)

①ロイヤルティ等売上、直営売上増 秋キャンペーンにより会員数増

- ・ 秋キャンペーンにより4Q比会員数3.3万人純増し、78.7万人に
- ・ おうちでカーブスWプラン（店舗とオンラインのハイブリッドサービス）の会員数が3万人超に（店舗プランからの切り替え、会員数78.7万の内数）
- ・ 退会率は引き続き、低水準に抑えられ2.1%（9-11月）

②会員向け物販売上減も、プロテイン定期契約者数は堅調に推移

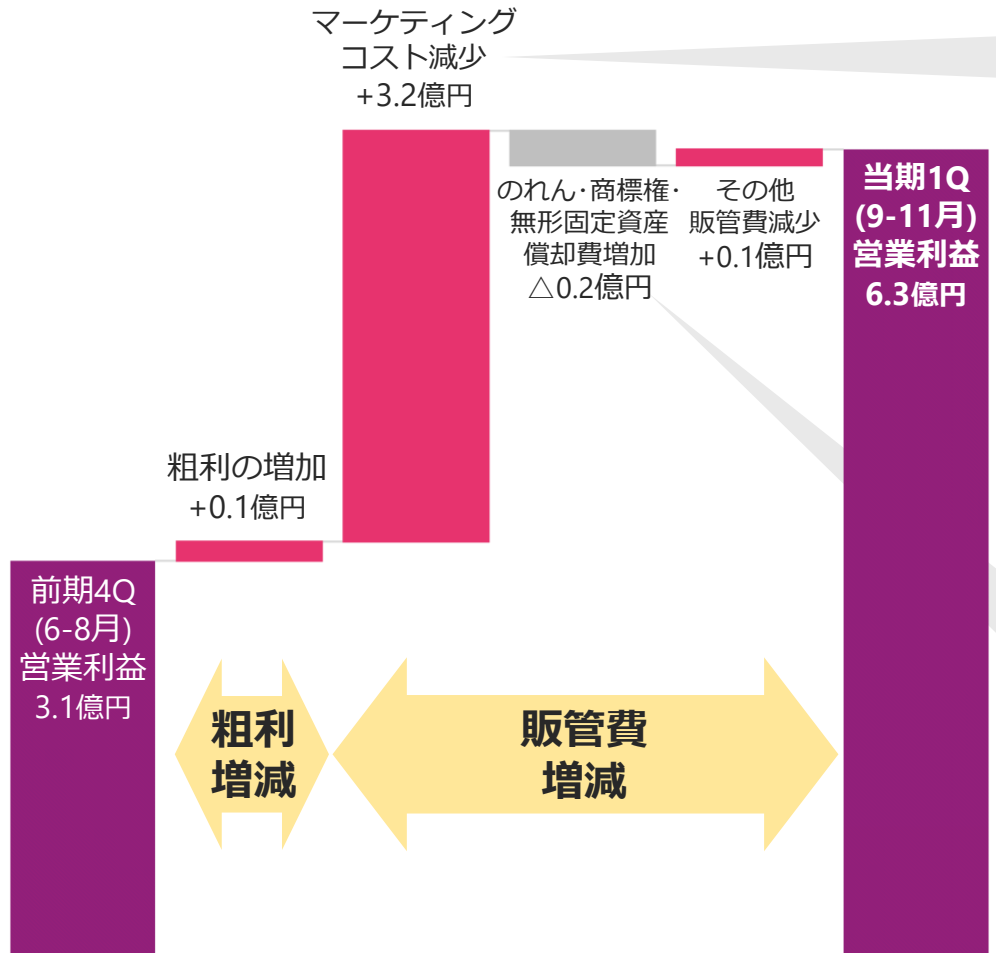
- ・ 1Qは例年プロテインの販売数減少。2Qの12月に「食生活の相談」強化月間を展開
- ・ 予定通りプロテイン価格改定を実施。22年9月～ +185円(税別)

* 原材料ホエイなど原価アップへの対応

連結損益計算書トピック（前期4Q比）

営業利益 前期4Q比+3.2億円(203.3%)

当期1Q(9-11月)の前期4Q(6-8月)からの増減



計画通りTVCM含めた積極的なマーケティングを展開

フランチャイズ加盟店からの
広告分担金供出額増加
および
マーケティング効率改善等により
マーケティングコスト減少

円安進行に伴う円換算償却費の増加

当期1Qアベレージレート 1ドル 138.68円

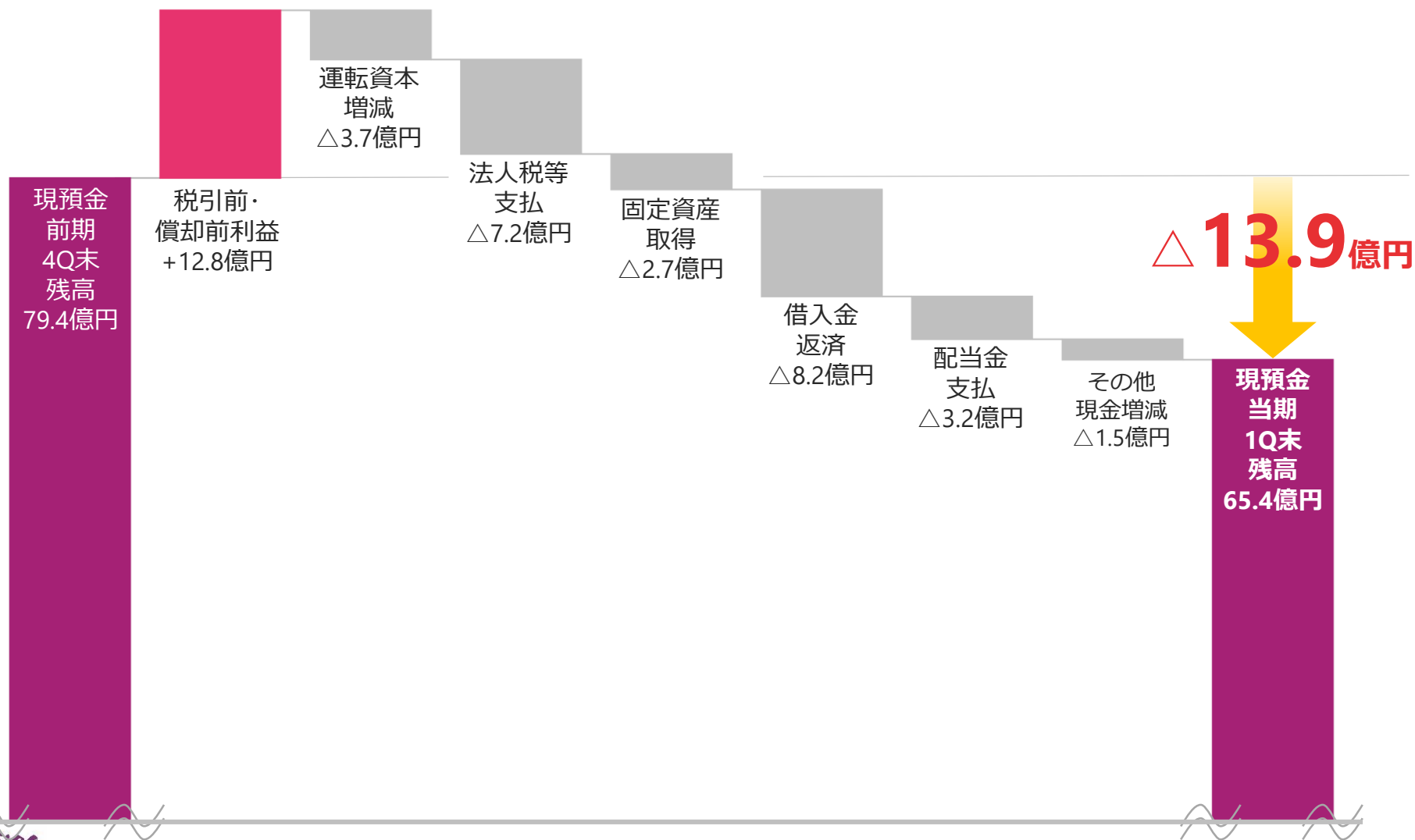
連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年 8月期1Q末	2022年 8月期末	前期末差
流動資産	12,937	13,739	△ 802
現預金*	6,822	8,212	△ 1,390
受取手形・売掛金	4,061	4,156	△ 95
商品	1,413	933	480
固定資産	25,509	24,612	896
有形固定資産	420	424	△ 3
無形固定資産	24,386	23,401	984
のれん	1,624	1,559	65
商標権	21,123	20,258	864
ソフトウェア	1,288	1,204	83
投資その他の資産	702	786	△ 83
資産合計	38,446	38,352	94
流動負債	8,939	9,307	△ 368
短期借入金（1年内長期借入金含む）	3,290	3,290	-
固定負債	16,067	16,688	△ 620
長期借入金	11,133	11,956	△ 822
負債合計	25,007	25,996	△ 988
有利子負債	14,423	15,246	△ 822
純資産合計	13,439	12,355	1,083
株主資本	9,006	8,868	138
負債・純資産合計	38,446	38,352	94
カレントレート	144.81円	136.68円	8.13円

キャッシュの増減について

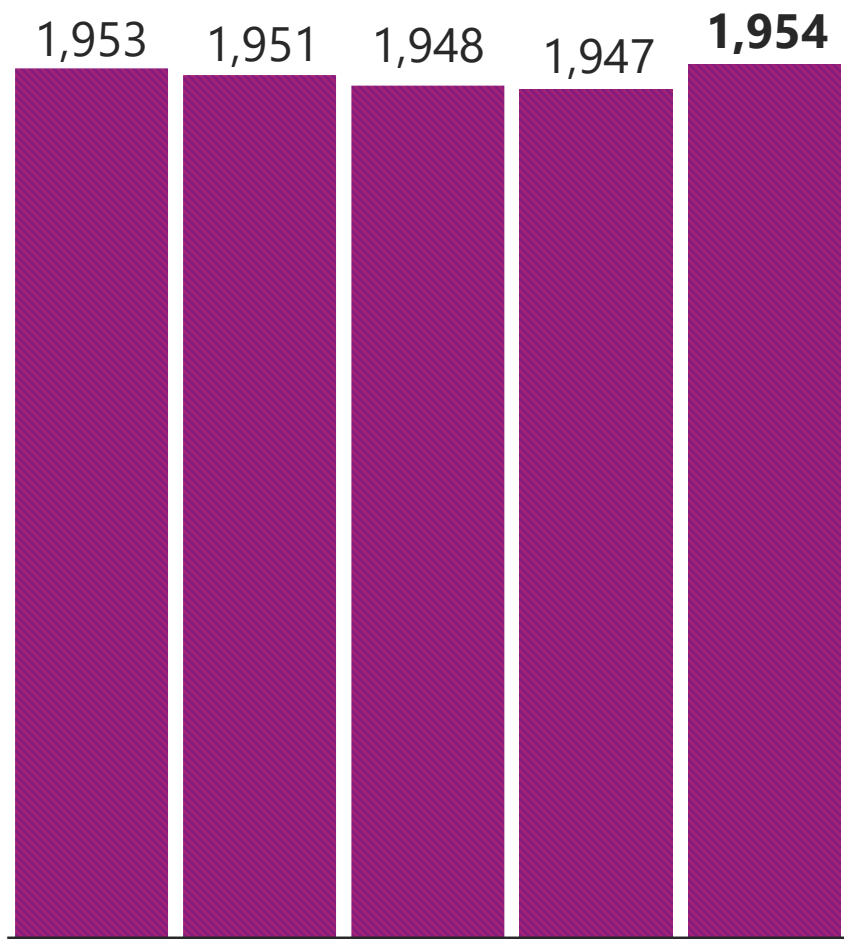
1Q(9-11月)現預金減少額 **13.9億円** 1Q末残高**65.4億円**



■ ■ ■ 1Qの事業状況と取り組み

店舗数

(単位：店舗)



22/1Q末 (21/11末) 22/2Q末 (22/02末) 22/3Q末 (22/05末) 22/4Q末 (22/08末) **23/1Q末 (22/11末)**

国内 **1,954** 店舗

1Q(9-11月)

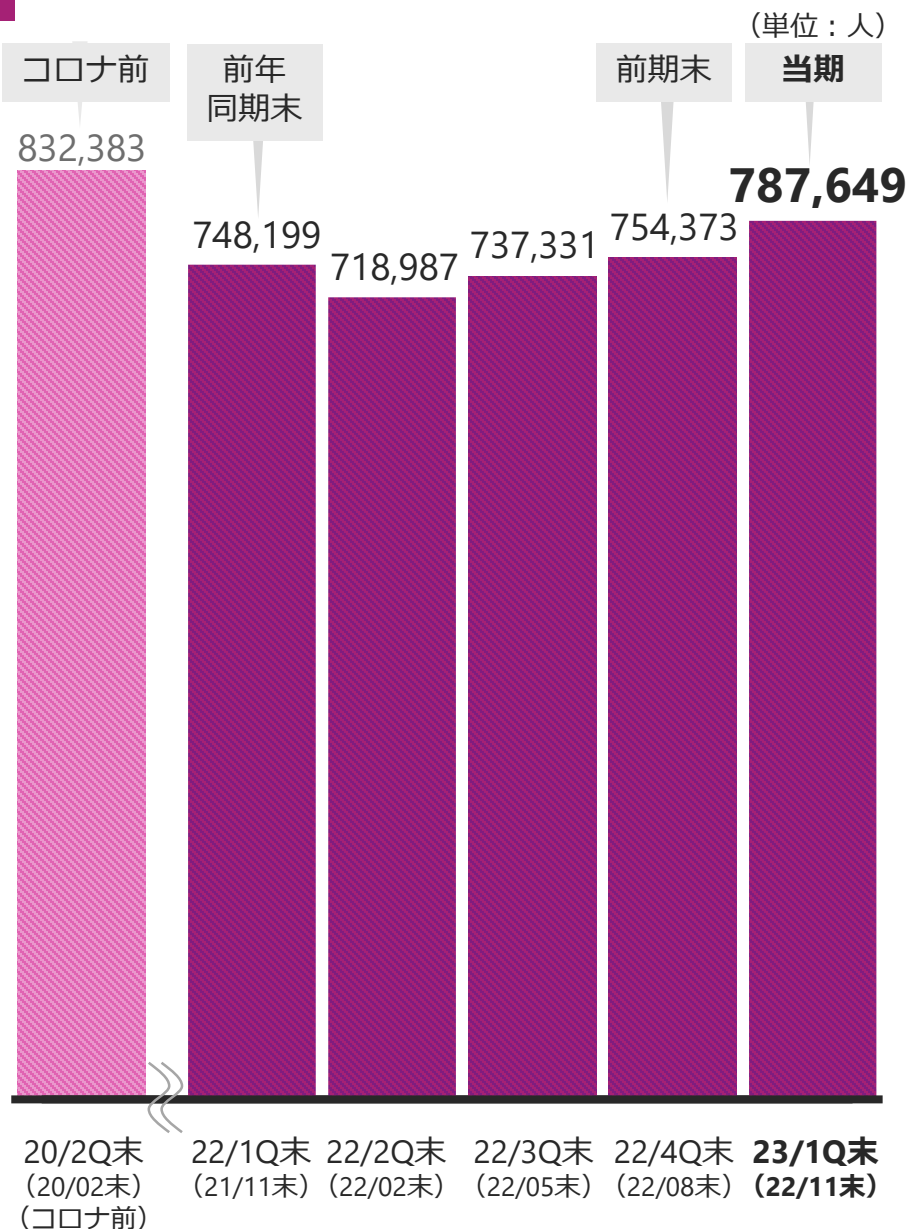
出店数 8店舗

閉店数 1店舗

純増数 +7店舗

- ・20/4Q以来、9四半期ぶりに前Q対比で店舗数純増
- ・閉店店舗の会員の7割超は近隣店舗へ移籍し運動を継続

会員数



総会員数 **78.7** 万人

22/08期末対比 + **3.3** 万人

コロナ前
20/2Q末対比 △ **4.4** 万人

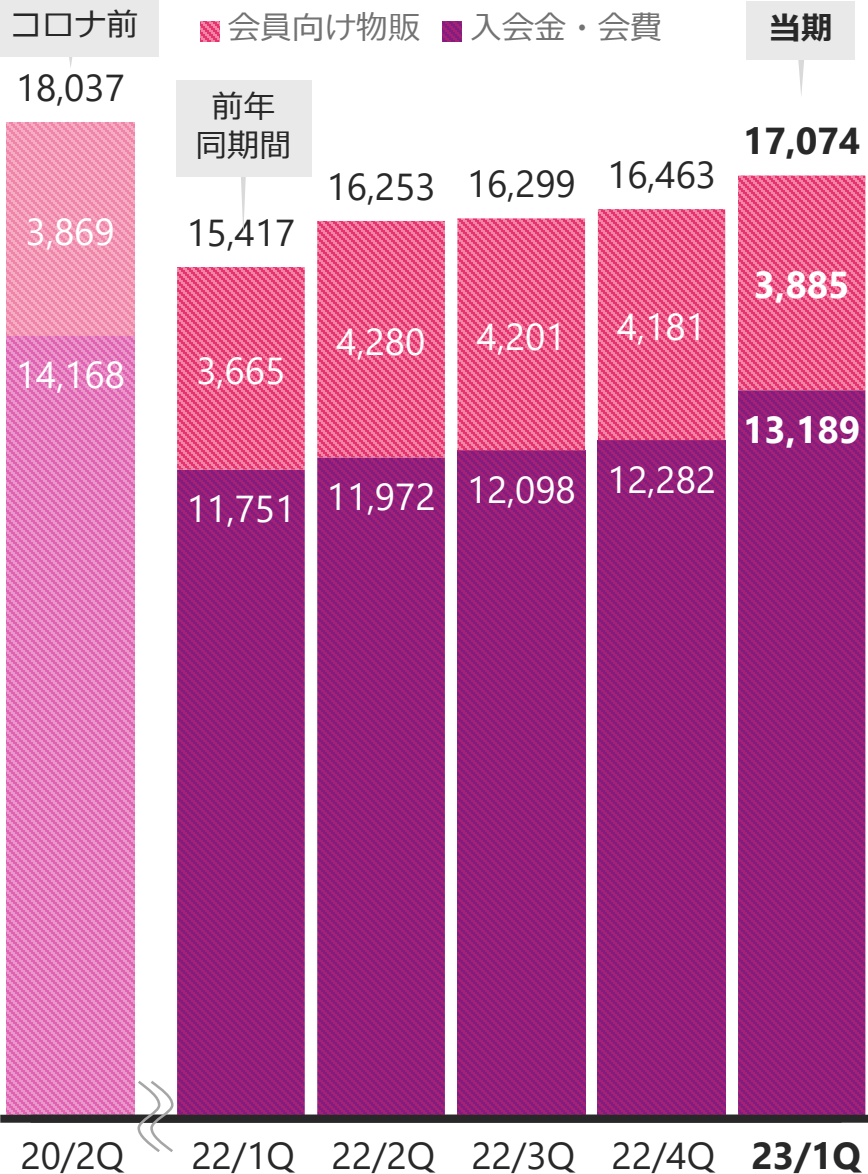
- ・秋の新規入会キャンペーンにより
会員数純増
- ・退会率は低水準を維持
(9-11月退会率 2.1%)

店舗とオンラインのハイブリッドサービス

- ・**おうちでカーブスWプラン**を店舗プラン
の会員様向けに提案するキャンペーンを
実施→約**3万人**がWプランへ切替

チェーン売上高

(単位：百万円)



23/08 1Q 実績 **170.7** 億円

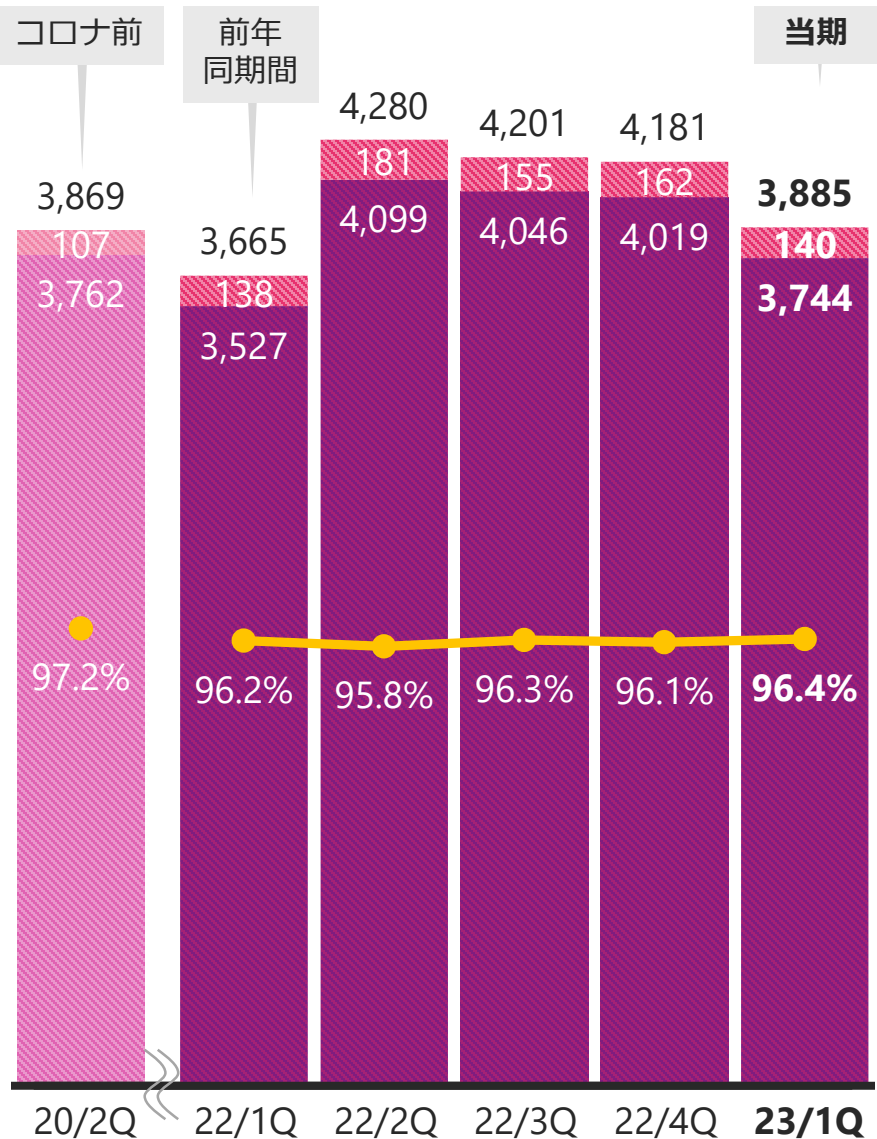
22/08 4Q対比 **103.7%**

コロナ前
20/08 2Q対比 **94.7%**

会員向け物販売上高

(単位：百万円)

■ その他会員向け物販売上 ■ プロテイン ● プロテイン比率



23/08 1Q
実績

38.8 億円

22/08 4Q対比 **92.9%**

コロナ前
20/08 2Q対比 **100.4%**

(プロテイン比率 **96.4%**)

会員様向けサービス強化

19

オンラインフィットネス



+



店舗とオンラインのハイブリッドサービス

「**おうちでカーブスWプラン**」を店舗プランの
会員様向けに提案するキャンペーンを実施

→約**3万人**がWプランへ切替

総会員数**78.7万人**のうち、

オンラインフィットネス

「**おうちでカーブス**」のみ利用者と合わせ

4.5万人超がオンラインサービスを利用中

カーブスアプリ

22年9月リリース 会員様向け無料アプリ

22年12月現在

約**16万人**が利用中

運動の習慣化に役立つと好評



健康二次被害防止の継続的啓発

累計2,857万枚配布

啓発リーフレット等による継続的な啓発活動

啓発活動をしている組織・個人(2022年12月現在)

自治体	119
企業団体	263社
個人 (有識者など)	367名

健康二次被害防止コンソーシアムとは：
 コロナショックによる過剰な外出自粛がもたらす健康被害を防ぐための啓発活動を行う組織
 医師・学者などの有識者、市町村、民間企業の有志により構成。
 当社は発起人であり、事務局を運営

健康二次被害防止コンソーシアム公式サイト <https://kenko-nijihigai.com/>

活動を活かすすべての人に危険が！
**コロナ禍で増える要介護
 今すぐ予防を！！**

● コロナ禍で「要支援・要介護が増える」可能性があります

感染予防のために外出をひかえ、運動や社会参加といった活動機会が減っている人が増えています。活動の機会が減ると、筋力が弱って、足腰が弱ってしまいます。そのまましておくと、歩行困難や寝たきりといった、要支援・要介護となる人が増えてしまうのです。

活動機会が減少 → 足腰が弱る → 歩行困難や寝たきりに

コロナ流行前の2019年と、流行後2020年のデータを比較した結果、3年で要支援・要介護認定を受ける人が25,378人増加(約16%増)すると推定されています。

3年間の推定要支援・要介護認定者数

16%増

2019年 2020年

2019年と2020年で、要介護認定を受けたい高齢者が54歳高まったが8つの自治体の介護保険費で削減した結果

● こんなことがあったら、要注意！

- バスや電車を一人で外出できない
- 日用品の買い物ができない
- 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできない
- 階段を手すりや段をつたわず昇れない
- 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない
- 15分くらい続けて歩いていない
- この1年間に転んだことがある
- 転倒に対する不安が大きい
- 昨年と比べて外出の回数が減っている
- 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)が18.5未満

当てはまるものが多いほど、要介護のリスクが高くなっている可能性が...!

要介護のリスクを下げるために、できることは？ [画面でチェック](#)

2022年10月始動 小林製薬 × カーブス in 阪南市 「いきいきシニアプロジェクト」

大阪府阪南市後援のもと、
 運動習慣と認知機能・
 健康指標の関係性を検証する
 実証実験を始動

メンズ・カーブス

2022年10月 2店舗オープン

14店舗に

- 東京都八王子市

- 兵庫県高砂市

2022年12月 千葉県旭市へ15店舗目もオープン



● メンズ・カーブス店舗

*Men's
Curves*

The power to amaze yourself.®



既存店退会率は順調に低減、
引き続き集客ノウハウを磨きあげる

海外事業

重点地域の状況

欧州(スペイン・イタリア・英国を中心に8カ国)

2022年9月末現在**143**店舗

* 当社グループがフランチャイズ本部を経営する直轄エリアのみ。

* 海外は決算期のずれにより2カ月遅れでの連結取込み

ウィズコロナ・アフターコロナの環境にあわせた
新しいビジネスモデル、成長戦略構築中





2Q以降の見通しと戦略

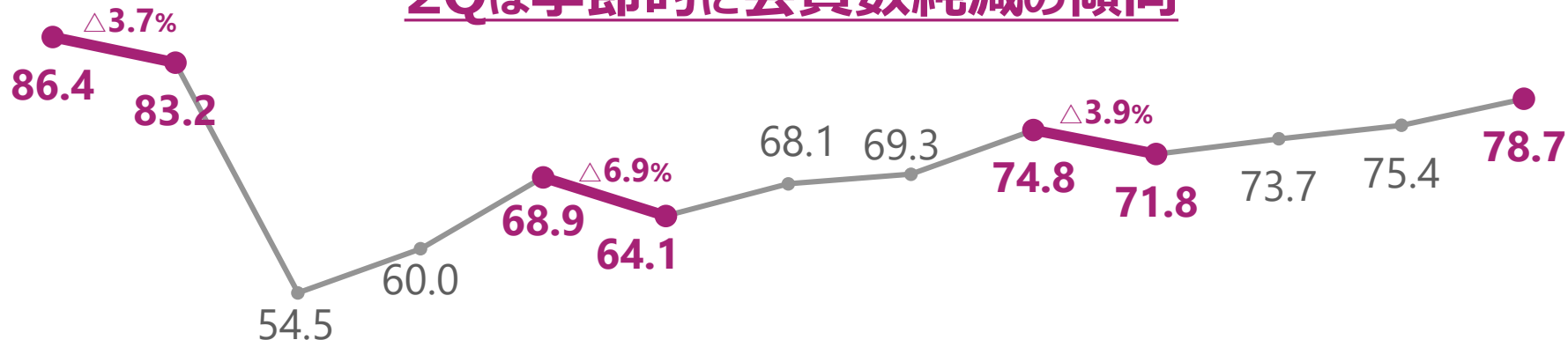
2Qの季節特性について（1Qとの比較）

会員数純減の予想

2Qは季節要因により1Q対比で入会数が減少し、
会員数は例年1Q末比純減

【四半期ごとの実質会員数変化（単位：万人）】

2Qは季節的に会員数純減の傾向



20/1Q末 20/2Q末 20/3Q末 20/4Q末 21/1Q末 21/2Q末 21/3Q末 21/4Q末 22/1Q末 22/2Q末 22/3Q末 22/4Q末 23/1Q末

物販定期便契約増の予想

例年12月は会員向けの「食生活の相談」を強化、
食生活の課題にあわせプロテインなどを提案

2022年8月期2Qの取り組み

25

2022年12月

食生活の相談強化月間を展開

高機能新商品 **スーパープロテイン・プレミアム+**

プレミアム+シリーズ
第5弾の新商品として

機能性表示食品
プロテイン+ **ヒアルロン酸**
をリリース



プレミアム+
既存ラインナップ



- 運動指導、習慣化指導とともに
食事相談を強化
→ プロテイン提案、購入者数増へ
- スーパープロテイン・プレミアム+
ラインナップ拡充
→ 客単価向上へ(通常プロテイン+1,000円)

2023年1-2月

サービス強化 ➡ 顧客満足度向上

➡ 春以降の会員数増



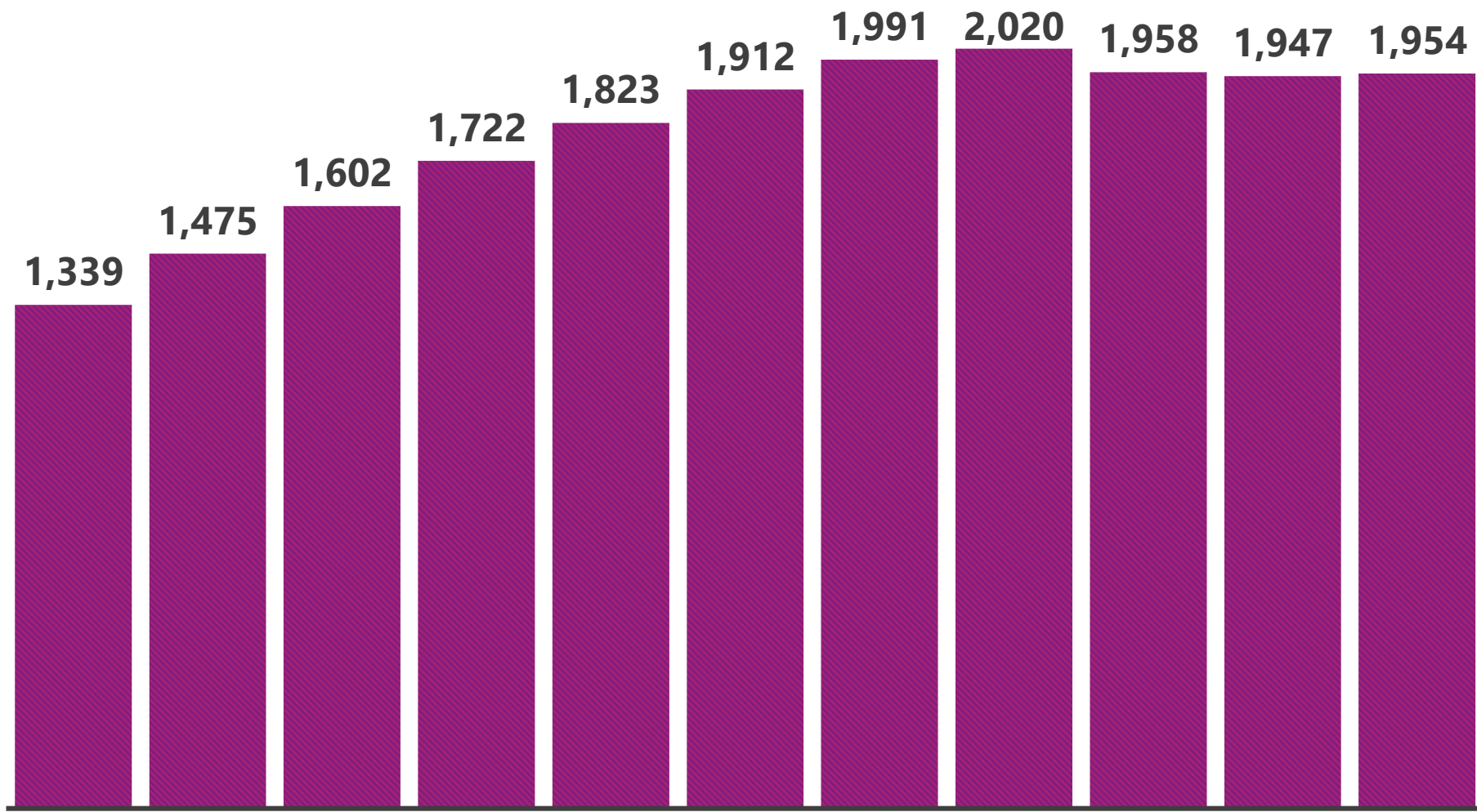
Appendix

■ カーブス事業の推移

店舗数の推移

28

(単位：店舗)

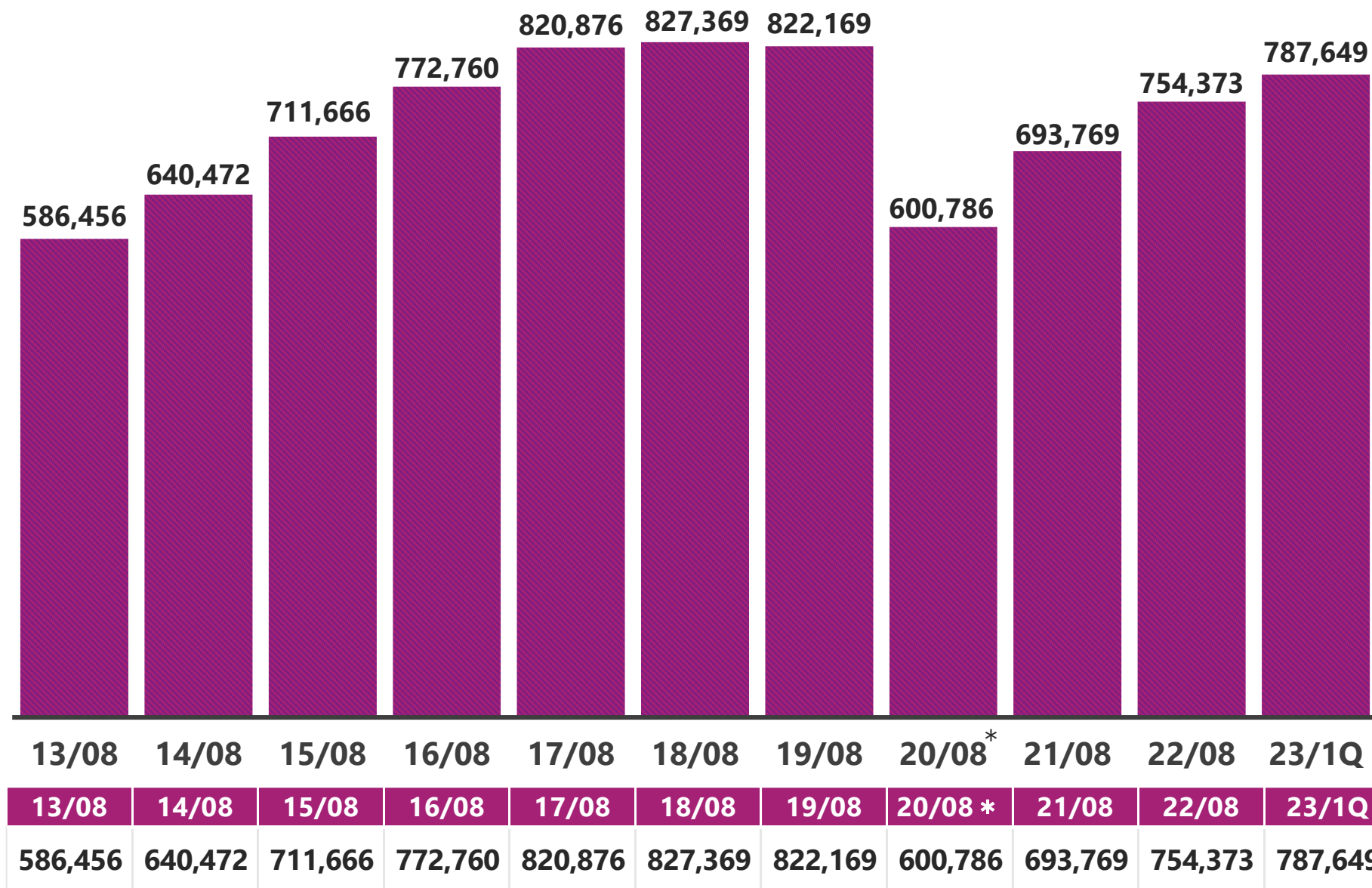


13/08	14/08	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08	23/1Q
1,339	1,475	1,602	1,722	1,823	1,912	1,991	2,020	1,958	1,947	1,954

会員数の推移

29

(単位：人)



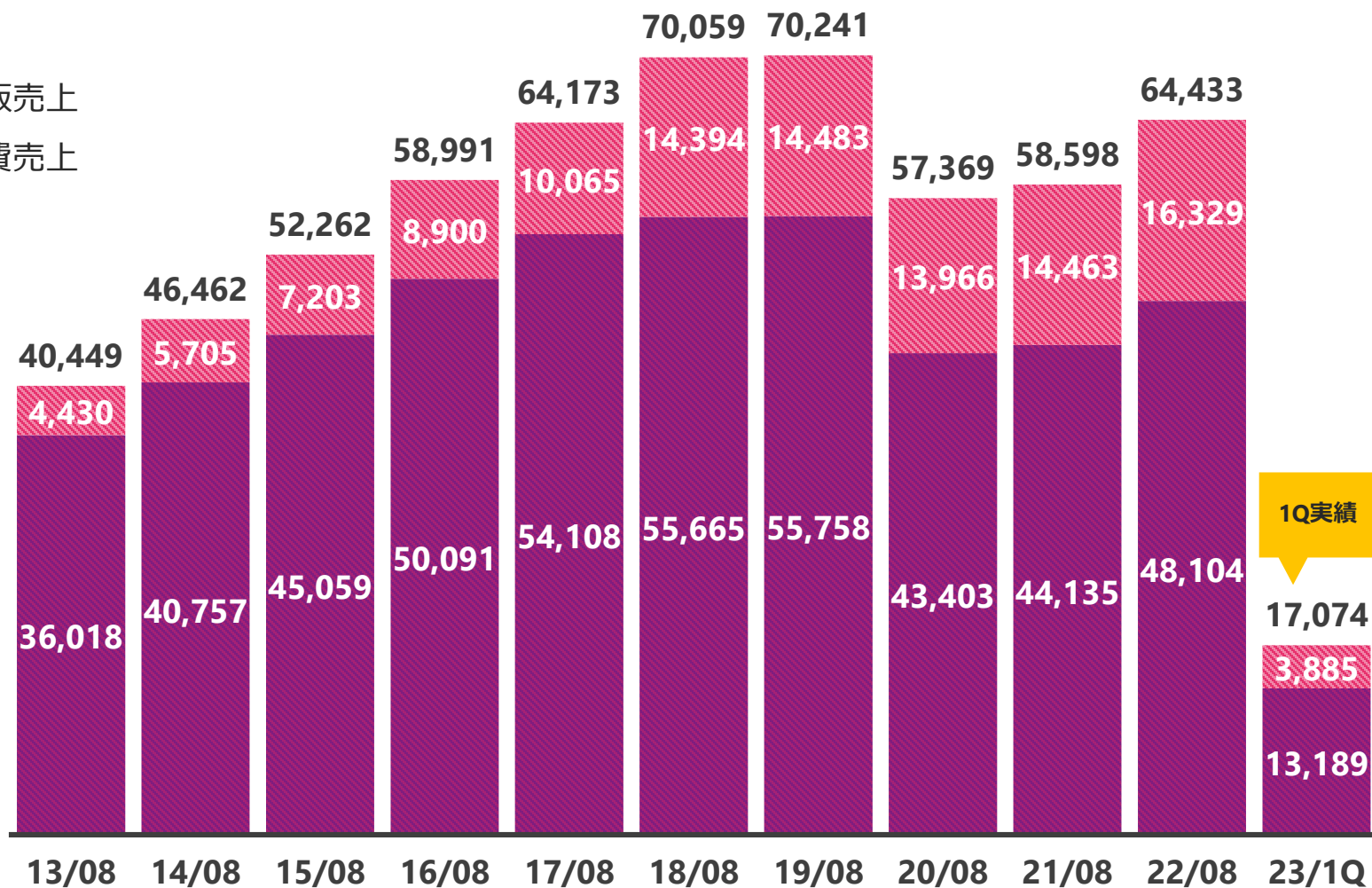
* 20/08期は特別休会会員を除く実質会員数です。

チェーン売上高推移

30

(単位：百万円)

■ 会員向け物販売上
■ 入会金・会費売上

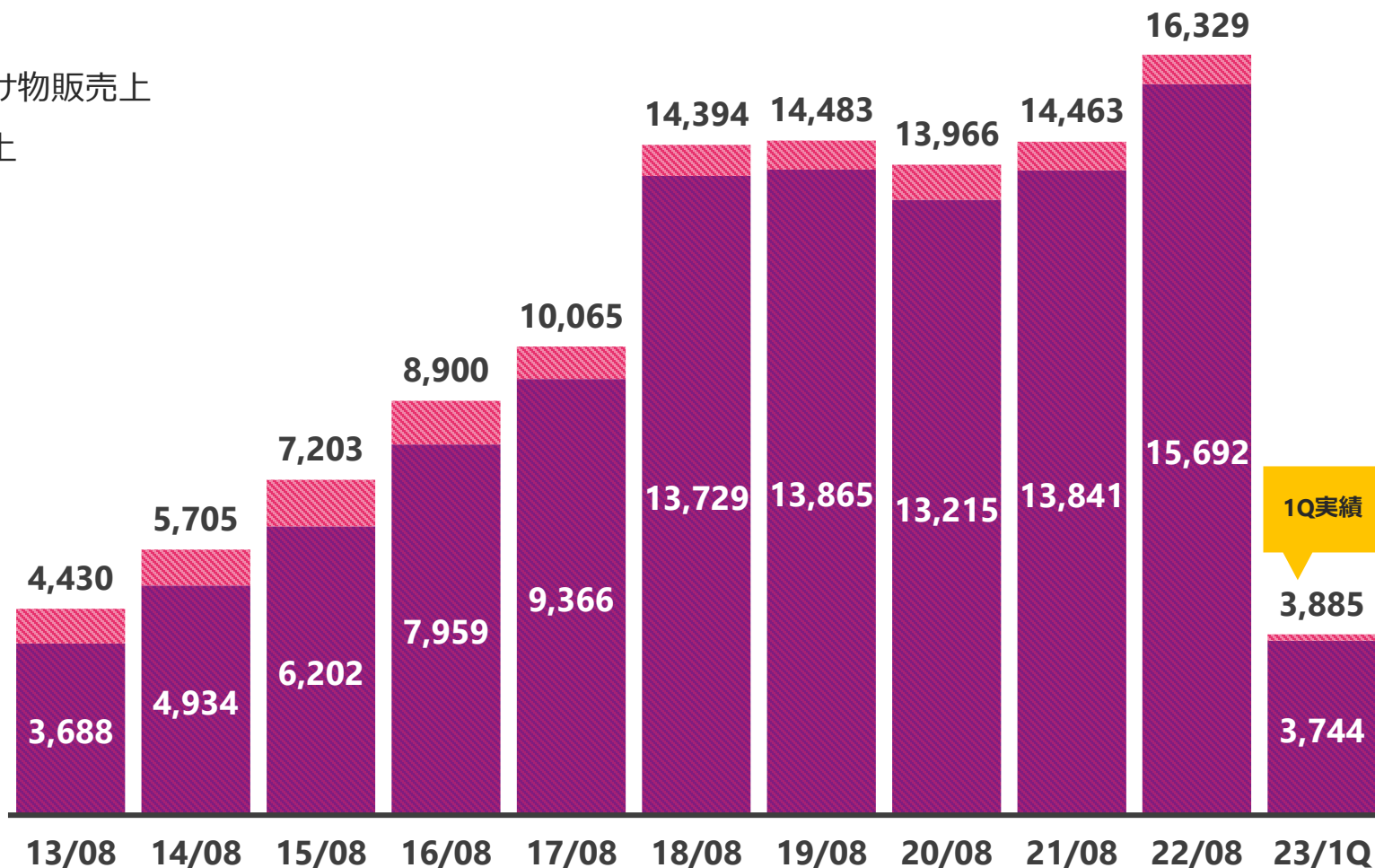


	13/08	14/08	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08	23/1Q
チェーン売上高	40,449	46,462	52,262	58,991	64,173	70,059	70,241	57,369	58,598	64,433	17,074
会員向け物販売上	4,430	5,705	7,203	8,900	10,065	14,394	14,483	13,966	14,463	16,329	3,885
入会金・会費売上	36,018	40,757	45,059	50,091	54,108	55,665	55,758	43,403	44,135	48,104	13,189

会員向け物販売上高推移

(単位：百万円)

- その他会員向け物販売上
- プロテイン売上



1Q実績

	13/08	14/08	15/08	16/08	17/08	18/08	19/08	20/08	21/08	22/08	23/1Q
会員向け物販売上	4,430	5,705	7,203	8,900	10,065	14,394	14,483	13,966	14,463	16,329	3,885
内) プロテイン売上高	3,688	4,934	6,202	7,959	9,366	13,729	13,865	13,215	13,841	15,692	3,744
プロテイン比率	83.3%	86.5%	86.1%	89.4%	93.1%	95.4%	95.7%	94.6%	95.7%	96.1%	96.4%
プロテイン前年比	137.8%	133.8%	125.7%	128.3%	117.7%	146.6%	101.0%	95.3%	104.7%	113.4%	-

■ カーブスグループの概要

私達の使命

私達は、正しい運動習慣を広めることを通じて、お客様と私達自身の豊かな人生と、社会の問題の解決を実現します。



私達が目指すもの

病気と介護の不安と孤独のない
生きるエネルギーが溢れる社会をつくる



動画「10年後のカーブス」

<https://youtu.be/XKuPtwwnNIE>

基本方針

『**地域密着の健康インフラ**』を目指し、
社会課題の解決に貢献します。

カーブスグループは創業から掲げる経営理念、

事業目的 : 病気と介護の不安と孤独のない
生きるエネルギーが溢れる社会をつくる

私達の使命 : 私達は、
正しい運動習慣を広めることを通じて、
お客様と私達自身の豊かな人生と、
社会の問題の解決を実現します。

に基づき『地域密着の健康インフラ』として**社会課題の解決**に貢献することを第一義として経営をして参りました。お客様、フランチャイズ加盟店、ともに働く人達を含めたステークホルダーの皆様とともに、社会・環境をより良くしていくことに努めることでサステナビリティ経営を実践して参ります。

1. 『地域密着の健康インフラ』として
お客様と社会の心身の健康への貢献
2. お客様の安全・安心No.1を目指した運営
3. 環境にやさしく気候変動リスクが低い
ビジネスモデルづくりと店舗運営
4. やりがいと働きがいに溢れる一人一人が輝く
人材育成・職場づくり・組織運営
5. 地域社会への貢献
6. サプライチェーンにおける公平公正な取引と
人権・人間性の尊重
7. 実効性の高いコーポレートガバナンス

株式会社カーブスホールディングス
(グループ持株会社)

株式会社カーブスジャパン

日本フランチャイズ本部事業

株式会社ハイ・スタンダード

グループ直営店事業

Curves International, Inc.

グローバルフランチャイザー事業

Curves Europe B.V.

欧州フランチャイズ本部事業

事業概要

- 「女性だけの30分フィットネス カーブス」を展開
- 国内店舗数1,954店舗（直営76店舗、FC 1,878店舗）
（2022年11月末時点）

基礎データ

- 所在地：東京都港区芝浦3-9-1芝浦ルネサイトタワー11F
- 設立⁽¹⁾：2005年2月
- 売上高⁽²⁾：275億円
- 資本金⁽²⁾：8億円

注：
1.カーブスジャパンの設立日。カーブスホールディングスは2008年10月設立
2.2022年8月期

沿革

- 2005年02月 ベンチャー・リンクによりカーブスジャパン設立（世界総本部とマスターライセンス契約）
- 2006年03月 フランチャイズによる全国展開スタート
- 2006年06月 100店舗を突破
- 2008年10月 コシダカホールディングスの連結子会社となる
- 2011年06月 1,000店舗を突破
- 2015年06月 神奈川県認証施設「未病センター」第一号である「未病センターカーブス小田原」を開設
- 2018年03月 Curves International, Inc.（世界総本部）を買収
- 2018年11月 メンズ・カーブス（茅野店）を開設
- 2019年07月 CFW International Management B.V.（現・Curves Europe B.V. 欧州FC本部）を買収
- 2019年10月 2,000店舗を突破
- 2020年03月 株式分配型スピンオフにより東京証券取引所市場第1部に株式を上場
- 2022年04月 東京証券取引所「プライム市場」へ移行

お問い合わせ

▶ IRについてのお問い合わせ

カーブスホールディングス

TEL : 03-6777-0039

e-Mail : curves-ir@curves.co.jp

URL : <https://www.curvesholdings.co.jp/>

証券コード : 7085

本資料は、2023年8月期第1四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2023年1月11日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。